第○学年　家庭科学習指導案

（ＭＳ明朝14.0Ｐ）

＊基本的に文章は、ＭＳ明朝10.5Ｐで書いてください。

学校名、クラス

指導者　　　等

**１　題材名（ＭＳゴシック太字11.0Ｐ　数字全角　(1)等は、半角）**

　・子供が興味をもちやすく、楽しいネーミングを。題材名の横に指導内容、指導事項を入れる

項目は，一行開けずに詰めて書いてください。

**２　題材設定の理由**

1. **題材について**

　　・「児童」または「子供」どちらかに統一して書く

　　・学習指導要領の内容「Ｃ消費生活・環境」の「（１）物や金銭の使い方と買物」のように位置づけ

を書く

・社会情勢などから家庭科の視点からの問題点やこの題材で育てていきたい資質・能力など

　　・「生活の営みに係る見方・考え方」のうち重視する視点について

　　・中学校学習指導要領とのつながりを書く

1. **児童の実態について**

・家庭科に関係するアンケート結果等からみる児童の実態や問題点

・これまでの授業の経過から見た児童の様子（成果と課題など）

  **(3) 指導について**

　　・本題材のこれまでの授業の流れと本時の授業の流れ

　　・本題材での衣食住に関する実践的・体験的な活動について表記する。

**(4) 研究主題または研究副主題との関わり**

・研究主題または副主題と関わって、授業を（または題材で）工夫した点等の説明（県の研究主題

を参照してください。）→なるべく簡素に

**３　題材の目標**

○　物や金銭の使い方と買物や環境に配慮した生活・・・・・・適切にできる。（知識及び技能）

○　・・・（思考力、判断力、表現力等）

◯　・・・（学びに向かう力、人間性等）

　・三つの柱で整理して書く。

**４　題材の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・・ |  |  |

・評価は「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校、中学校）の題材ごとの学習評価について（事例）を参考に作成をする。

・それぞれの観点での評価規準が２つ以上なら初めに「・」を付ける。

**５　題材構想と評価の計画（全○時間）**

**【見方・考え方】持続可能な社会の構築**

**実践活動**

**ＩＣＴ**

**他教科等**

**対**

**主体的な学びの視点**　　**対話的な学びの視点**

**主**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 小題材名時間 | ○　ね　ら　い・主な学習活動主体的・対話的で深い学びの視点と学習指導の工夫 | 評価規準・評価方法 |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| **とらえる****生活の課題発見（MSゴシック太字１１．０P）** | 消費者として大切なことは何だろう　　１  | １ | ○購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方・買い方について、問題を見いだし、課題を設定する。・買物のシチュエーション映像から、良い点、悪い点、疑問に思った点を書き出す。 ・良い点、悪い点、疑問に思った点をタブレット端末にまとめることができるようにする。 | **課題　よりよい消費者になるにはどうしたらよいのだろう** | ①身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定している。

|  |
| --- |
| **指導に生かす評価** |

**・行動観察****・学習カード** | ①購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。**・行動観察****・ポートフォリオ** |
| **見通す****解決方法の検討と計画** | 消費者の　　　役割とは何だろう　　２　　本　　時　　　　　　　　　 | ２本時 | 本時の指導を太枠で囲む。◯・・筆箱の購入について、自己評価を基にグループでタブレット端末を活用し、検討することができるようにする。・持続可能な視点から見直しや改善を考えることができるようにする。 | 「指導に生かす評価」、「記録に残す評価」が分かるように記載する。「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校・中学校家庭編）を参考にする。（必ずしも必要でない場合もある。） | ①身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定している。（ＭＳ明朝９Ｐ）

|  |
| --- |
| **記録に残す評価** |

**・行動観察****・学習カード****（ＭＳゴシック　９Ｐ）** |  |
|  | どんなことに気をつけて買物をしたらよいのだろう  　　４ | ３ |  |  |  |  |
| **確かめる****課題解決に向けた実践活動** | 　　　５　 | ４ |  |  |  |
|  | 　　　買物をしてみよう　　　６ | ５ | ◯　　　　　　　　　・・循環型社会を目指し、環境や安全を考えて物や金銭を計画的に使うことの大切さを理解し、消費生活で実践することができるようにする。 |  |  |
| **振り返る****実践活動の評価・改善****生かす****家庭・地位での実践** |  | ６　　 | 子供たちが自分の生活経験や学んだ知識（事実的な知識）を関連付けて考え、理解を深めていく過程で本質的な「持続可能な社会の構築」という概念が習得され、技能が定着した姿、子供が課題を解決したときの姿を表記する。学習過程の　とらえる→見通す→確かめる→振り返る→生かすは一例である。題材の流れの中に「振り返る」や「生かす」をくり返して学習を進めることも考えられる。 |  |  |
|  | 家庭 | **本題材で付けたい資質・能力**〇〇〇 |

**深い学びの視点**本当に自分にとって必要な物かを考える事や目的や環境のことを考えて物を選んで買うことを通して、消費生活をよりよく工夫していこうとする姿

題材の目標と同じでよい。知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等の３つの柱について書く。

**本題材で付けたい資質・能力**

〇

〇

〇

**中学校との関連**・・・C（１）金銭の管理と購入　（２）消費者の権利と責任

**６　本時の学習**

　**(1) 目 標**

※目標のところには「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」等評価を書かなくてよい。

**(2) 展 開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間（分） | 学　習　活　動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法 |
| 　３　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | １　本時の学習課題を確認する。　・ | ○　・↑学習課題を書く。枠が評価までのびないように。 | ・「５指導と評価の計画」の表と合うように書く。・評価の観点は1時間に一つ又は二つぐらい。・評価の観点の前に指導と評価の計画と同じ番号をつけて本時の評価規準を明確にする。 |

　**(3) 評価及び指導の例**

|  |  |
| --- | --- |
| 「十分満足できる」と判断される状況 | 「おおむね満足できる」状況(B)を実現した児童が、更に質的な深まりや高まりをもっている姿（A）を具体的に想定して書く。 |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 | 支援を必要とする子供を想定して、具体的な手立てを書く |

＊基本的には、学習指導要領で使われている用語を使用する。

　　統一したい用語

|  |
| --- |
| 子供たち　子供　　取組　　また　　さらに　　したがって　　なお一人一人　友達　目指す　気付く　互いに　様子　買物　　話合い　自ら　見いだし　気付く　身に付ける　ごみ　取扱い |

＊板書計画については、授業当日に別紙にて配付する。

|  |
| --- |
| めあて消費者の役割とは何だろう　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　まとめ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふりかえり本時の板書を図や絵等で表記してください。 |